

みんなで取り組む 節電の夏



広陵北保育園

広

陵

町

議会 だより

 **No.78**

平成 24 年 8 月 1 日

目次 [contents](#)

- 2 第2回定例会
- 4 町政を問う一般質問
- 10 意見書
- 11 委員会の窓
- 12 議会日誌

平成24年
第2回
定例会
6月8日～6月18日

審議結果は次のとおりです。

条例

議案第23号 広陵町印鑑条例及び広陵町手数料徴収条例の一部を改正することについて

外国人登録法の廃止などに伴う条文の改正。

採決結果 全員一致で可決

議案第24号 広陵町税条例の一部を改正することについて

たばこ税率の改正、分離課税の退職所得にかかる町民税の特別控除の廃止などに伴う、条文の改正。

賛成討論

想定以上の高齢化に伴う、医療費の助成拡大などによる、支出の増加であり、やむを得ない措置である。

反対討論

退職金が減らされる傾向の中で、長年継続してきた軽減制度を廃止し、260万円の庶民増税は認められない。

採決結果 賛成多数で可決

【賛成者 堀川、谷、吉村、坂野、山村、竹村、奥本、吉田、坂口、笹井、八代】

議案第25号 広陵町公民館条例の一部を改正することについて

社会教育法の改正に伴う条文の改正。

採決結果 全員一致で可決

議案第26号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて

町に出された資源物の持ち去り行為禁止、罰則などを規定する改正。

採決結果 全員一致で可決

議案第27号 広陵町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正することについて

馬見北5丁目の地区整備計画区域における、建築物の制限を新たに規定する改正。

採決結果 賛成多数で継続審査

【賛成者 谷、吉村、山村、奥本、吉田、坂口、笹井、八代】

今回の継続審査の流れ

本会議で厚生建設委員会に付託

厚生建設委員会で審査

賛成多数で継続審査

本会議において委員長報告

質疑・討論

賛成討論

住民アンケートの賛成率が地権者全体の76%と低いことが心配である。また、新人議員に対してもう少し資料における研究の時間が必要ではないか。都市計画審議会の議決前の提案になっている。

反対討論

地権者の多数意見を尊重し、4年あまり慎重に検討し少数意見も大切に賛成者との意見交換・都計審委員への説明も経ている。建設できる建物は、既に発効している馬見南3丁目地区計画と同じ内容で、議会は昨年全会一致で可決している。

人事

議案第22号 広陵町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

竹島 滋(三吉)

採決結果 全員一致で同意

専決

広陵町税条例等の一部を改正する条例の専決処分報告について

地方税法等の改正に伴う条文の改正。

反対討論

固定資産税の軽減措置を改悪して、3,350名から約960万の増税をはかるものだ。デフレの時期に庶民増税では景気回復の足を引っ張る。

採決結果 賛成多数で可決

【賛成者 堀川、谷、吉村、坂野、山村、竹村、奥本、吉田、坂口、笹井、八代】

議案第28号 広陵町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告

採決結果 全員一致で承認

平成24年度広陵町国民健康保険特別
会計補正予算(第1号)の専決処分
の報告について

平成24年5月31日付で平成23年度
決算額確定に伴う追加補正。
前年度繰上充用金

【1億9,216万1,000円】

採決結果 全員一致で承認

予算

議案第30号 平成24年度広陵町一般
会計補正予算(第1号)

特別委員会設置につき、先進地の
視察調査を行うための旅費等の補正。

【74万2,000円増額】

採決結果 全員一致で可決

その他

議案第28号 広陵町立真美ヶ丘第一
小学校大規模改造工事(2期)に伴
う工事請負契約の締結について

○主な改造工事箇所

屋上の防水工事、校舎の外壁補修工
事、教室、廊下、トイレなど。

【契約金額9,975万円】

採決結果 全員一致で可決

議案第29号 奈良県後期高齢者医療広
域連合規約の変更をすることについて

法律改正に伴う規約の改正。

採決結果 全員一致で可決

報告

平成23年度広陵町一般会計繰越明許
費繰越計算書の報告について

議員提出議案

町長の専決処分事項の指定について

議会の権限に属する軽易な事項
で、議会の議決により指定するもの
を専決処分することができる。

採決結果 全員一致で可決

地域公共交通システム検討特別委員
会の設置決議について

地域住民の実情に即し、より利便
性を図った公共交通システムの構築
に資するため。

定数 11名

活動期間 平成25年3月31日まで

採決結果 全員一致で可決

中学校給食検討特別委員会設置決議
について

成長期である中学生の心身の健全
な発育を促す、安心・安全な学校給
食の実施について検討するため。

定数 13名

活動期間 平成25年3月31日まで

採決結果 全員一致で可決

原子力発電所再稼働に関して慎重な
対応を求める意見書

賛成討論

福島原発事故の原因調
査が済んでいないのに、
再稼働を認めるのは拙速
だ。保安院が定めた30
項目も完了していない。

反対討論

現段階で、おおい町、
福井県は英断で再稼働を
許可され、また国は再稼
働に向けて動いている。

採決結果 賛成多数で可決

【賛成者】堀川、谷、吉村、山村、竹村、
奥本、吉田、坂口、笹井、八尾、山田、
八代

「防災・減災ニューディール」によ
る社会基盤再構築を求める意見書

採決結果 全員一致で可決

※採決については、青木議長除く。

議会の傍聴にお越しく下さい!

議会はみなさんに公開しています。気軽に来てください。

役場1階ロビーにおいて
放映も行っています。



町議会本会議は、役場3階の議場で、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。
次回は9月に開かれます。
日程については、9月上旬に議会事務局までお問い合わせください。
ホームページにも掲載予定です。

ホームページ <http://www.town.koryo.nara.jp>

一般質問 **ここが聞きたい!**

町政を問う



一般質問を6月11日、12日の両日に12名の議員が行いました。一般質問は、議員が町の行政全般にわたって理事者に対して、事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めまたは疑問を質すために行います。

広陵町議会は、通告制(質問内容をあらかじめ議長に提出する)を採用し、一議員、一時間の持ち時間で、一質問につき、3回まで質問を行います。なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細については会議録をご覧ください。会議録は、9月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページに掲載する予定です。

※答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部長の発言を要約して掲載する場合に用いています。



高齢者見守りネットの有効活用を

問 今回高齢者をめぐる事件があった。SOSを発して行政機関にも相談に行ったが事件になった。行政のみならず、事業所、組織、近隣などあらゆる手だてを取らないとSOSを発しているにもかかわらず、事件になってしまふ。地域包括を主とした体制はできたか。

平岡町長 この事件は残念な結果となった。再発防止に向けて地域包括支援センターを中心に各種関係団体等の地域の力をお借りして、また事例によっては警察等の各種関係機関にも要請し、取り組みの強化を図っているところである。

今回の地区計画、保護者からの願いはもり込まれたか?

問 すでに地元保護者からは将来に渡っても障がい者本人が住めるように法の庇護が得られるグループホームができるように町や議会にも要望

書が出されている。前回、馬見南3丁目の地区計画では、細則において地元の人は建設できるよう行なうとのことで賛成したがあれから1年がたった。今回の馬見北5丁目の計画ではもり込まれたか?

平岡町長 グループホームの用途での建設はできません。

保護者との懇談会にも出席しながら協議させていただいており、地域の人を支え合い住み慣れた家で住んでもらえるように進めておりますのでご理解いただきたいと思います。

馬見北3丁目遊水池は 景観よく管理を

問 馬見北3丁目の遊水池は当初は野鳥の観察ができる水辺の島がある景観池であった。しかし今やうっそうとしたジャングルになり、道にまで高木がしげり綿毛状の花粉がただよう近所迷惑な池になった。管理はしっかりしないと公園も単なるジャングルになるので、町も協力して当初の景観を保つように願いたい。

平岡町長 自然のままで約20年経過し草木が生い茂り森のようになってきた。通報を受け花粉対策と合わせて景観よく管理していただくよう、県の方で対策を練っていただいている。



笹井由明 議員

新地域公共交通システム について

問 本年2月20日より、これまでの広陵元気号を、一つには、予約なしの定時定期運行、二つには、路線を増強し運行エリアを拡大した、実証運行をされています。

①現在までの路線別、月別利用者数と実証運行の予定期間は？

②これまでの、新公共交通計画案について、今後の地域公共交通活性化協議会の位置づけを踏まえ、現在、どのように進められていますか。

③現在の国及び県の地域公共交通の補助制度はどうなっていますか。

平岡町長 ①2月20日から5月31日までの利用者数は、3,513人で増加傾向にあります。実証運行の予定期間は概ね1年間とします。

②利用者からのいろんな意見を集約し、運行状況を分析しながら新たなシステムを構築します。

③国県ともに広域的な運行を前提とする4つの条件があります。

町内のみ運行は対象外です。

県道田原本広陵線の 整備状況は

問 本町役場前を東西に走る、県道田原本広陵線の道路及び通学路の整備改修は、地域の人々にとって早期実現が望まれています。

①県施工の奥坪橋交差点整備事業の工程、工期と進捗状況は？

②役場、奥坪橋、東小学校前の歩道整備計画、改修計画については？

③この道路は、野村柔道金メダルをたたえ、各所に記念碑が建てられオリンピック道路とも称されていますが、防犯面、交通安全対策面から、街路灯の設置が望まれています。その計画は？

平岡町長 ①と②は現在、高田土木事務所で施工されている。奥坪橋から東小学校までの車道及び歩道整備は、今年度完成する予定です。

今後、信号機等も含め関係機関と協議を進めています。

③街路灯設置については、県要望とも合わせ、来年度町において、電柱等に設置できるLED街路灯について検討しています。



八代基次 議員

可燃ごみの処理基準の 改訂について

問 ごみ分別ガイドブックの規定が住民の生活実状と合致しないので改訂を要望します。

例として、庭木の枝葉の持込規定は太さ5cm、長さ30cm以内である。

町内の住宅の大多数は戸建であり、居住20年、30年ともなれば庭木の太さは10cm、20cm以上で植えかえ、枯死の場合、住民はその処理に困惑している高齢化家庭が多い。電動工具をクリーンセンターに設置し持ち込み条件の緩和を要望します。その他の項目についても住民生活の実状を十分把握して再検討を願いたい。

平岡町長 太さ10cmをこえる樹木の処理は、クリーンセンターでは対応できないので造園業者等に依頼していただくようお願いしていますが、今後各家庭で個人で処理できない太い樹木の受け入れについてはシルバークリーニングセンターと協議し、受け入れできるように進めます。また、ガイド

ブックの改訂につきましては、個々に相談を受け対応致します。

指名競争入札と 随意契約について

問 ①町が実施している工事、委託、購入について一般的には指名競争入札が妥当と考えるが随意契約に関する基本的な考え方は。

②随意契約に関する規定、基準等具体的に明文化されているか。

③平成22年、23年度の1件1,000万円以上の随意契約があれば上位各10件提示していただきたい。

④指名審査会とは何か。

平岡町長 ①地方自治法第234条第2項、同施行令第167条の2の要件に該当するからであり、金額上限等条件、定めがあります。

②要件として、金額上限、その性質、目的が入札に適さないもの、緊急の必要性、入札することが不利と認められる時等定めがあります。また、広陵町随意契約取扱基準も制定しています。

③別表にて提出致しました。

④委員は副町長、総務部長、事業部長、会計管理者、教育委員会事務局長で組織しています。



奥本隆一 議員

中学校給食の早期実現を！

問 昨今の子ども達は、塾通い等に忙しく、スナック菓子やインスタント食品で安易に空腹を満たしがちである。成長期の子ども達にできる限り安全で健康的な食事を摂っていただきたい。また、お弁当作りの負担を軽減するためのサポートも必要と思われる。

中学校給食の早期実現に向けて検討を重ね、予算を計上する旨、3月議会において理事者は答弁されている。その後の所見を伺いたい。

理事者 町部局で進めている「広陵町食生活・食育を考える会議」において、去る5月15日に第2回目の会議を開き、中学校給食の実現に向けて現状をお話しし、委員の考えをお聞きしたところである。

また、教育委員会を設置した「中学校給食懇話会」においては、第2回目の会議を6月20日に開催し、幅広くご意見をいただくこととしている。

このなかでは給食を望まれる人、弁当を望まれる人などについてどのように対応すべきかも含め、検討をいただく。

今後もし引き続き会議を継続し、先進的な取り組みをされている自治体を訪れ、中学校給食について研修をいただくこととしている。

給食の方式については、学校内に給食室を設置して調理する「自校方式」、複数の学校の給食を給食センターで調理して配達する「センター方式」、給食室を持つ学校が、他の給食室を持たない学校の調理も同時に行う「親子方式」、民間業者が自社の施設で弁当を作り、学校に配達する「デリバリー方式」など、いろんな形態があり、自宅からの弁当持参を併用している自治体も多数あります。また、調理も「町直営」や「民間委託」などさまざまで、広陵町にふさわしい中学校給食の実現に向け、方式や安全面、経費などあらゆる面から検討して早期に方針を示し、町部局と教育委員会との調整を図ってまいります。

○その他の事項

- ・学校時代の「一番の思い出」となる修学旅行について



谷禎一 議員

町長の政治理念、姿勢について

問 公共、公益性の高い社会福祉協議会で社協を被告とする慰謝料請求裁判の判決が下され、会長（町長）は全額支払うと明言していたが、約半金（111万円）を社協が支払っている。議会も社協予算から支払うべきでない旨の議決をしているが、一町民となった時点で社協が負担している金員を支払う考えはないのか。

平岡町長 判決の結果、控訴の是非、請求金の支払い内容など、社協の理事会、評議会で決定し、その結果に従ったもの。一連の経緯を踏まえ、会長職を辞し、この期に組織運営の転換を図った。今後の社協の発展を期待する。

町職員の人事異動について

問 21年度3回・22年度6回・23年度4回おこなわれており、3ヶ月や1ヶ月程度で異動がなされている。

る。短期間で人事異動を繰り返すことは、諸問題も発生し職員も過度な負担がかかり、住民の視線にたった良い職員を育てることができない。ひいては、住民サービスの低下となる。今後も少数精鋭を目指すのか。

平岡町長 人事異動については、定期異動など適宜必要が生じた場合に行っており、関連性のない部署への異動はない。今後も少数精鋭で行政サービスの向上を目指す。人事について、一議員の介入はいかなものか。

真美ヶ丘幹線沿いの街づくりは

問 真美ヶ丘ニュータウンも完成から30年近くたつてきており、高齢化が進み、生活環境も変化している。歩道は植物帯などで通行幅も狭く、段差や破損部分もあり、自転車、歩行者相互の通行には危険がある。交通安全上、福祉の観点より計画的な地域生活支援体制の整備が必要では。

平岡町長 短期的な用途地域の見直しは考えていない。3m未満の歩道については見直すこととなっております。路面表示等による安全啓発に取組、地域自治会の意見を踏まえて整備に取組む。また道路のバリアフリー化も推進する。



竹村博司 議員

広陵元気号について

問 公共交通元気号についてオープンより今日までの利用客人数は1日あたり平均何人ぐらい利用されておられるか。また、百済東地区の利用客より、近商へ行くのに1時間かかるので利用しにくいとのこと指摘をいただいたが、ルートについて改善策等、見直しの考慮をしてもらいたいがいかがなものか。

平岡町長 元気号の1日あたりの平均利用者数は2月が26名、3月は32名、4月は35名、5月は39名です。元気号の実証運行期間は1年を予定しており可能な限りニーズに対応できるように、「PDCAサイクル」を繰り返しながら改善に努めて参ります。

百済共同墓地の駐車場について

問 奥坪橋から百済共同墓地方面への歩道工事も完成し、前回百済区と町長の間で百済共同墓地駐車場を作

る協定を結んであると思うが、早急に対応していただきたい。交通量が多い上、駐車場がなく路上駐車するには危険が多い。

平岡町長 クリーンセンター建設に係る周辺整備の協定書の中で、整備要望があることは承知しておりますが、新しい道路計画もあり、駐車場位置等を含め、地元協議をさせていただきたい。その節はお力添えいただきますようお願い致します。

広陵町内、全小中学校不登校生徒について

問 小学校、中学校の不登校生徒はどれくらいの人数がいるのか。

また、その生徒に対し、学校側は何かの対策、改善を図っておられるのか。学校側にはつきりとしたお答えをいただきたい。

安田教育長 平成23年度中、小学校は4人、中学校は、22人の合わせて26人との報告を受けています。

また、26人中7名が大和高田市にある「かたらい教室」で支援を受けしており、早期に登校できる環境づくり等、常に情報の共有を図っています。



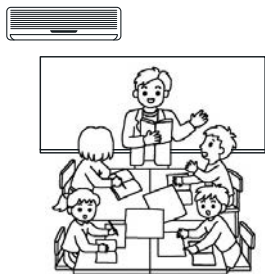
坂野佳宏 議員

普通教室のエアコン設置について

問 温暖化が進み日中の温度は授業に集中できる環境ではない。県立高校も徐々に普通教室にエアコン設置が進んできている。本町の小中学校のエアコン設置について考え方を聞ききたい。

また弁当も暑さで傷み、食中毒の発生を懸念している。早期設置をいただくよう要望する。設置に向けた教育長の考え方は。

安田教育長 扇風機設置により身体的負担を軽減することができたと考えている。設置後、2回目の夏の様子を見て、教育環境の改善に向け引き続き研究したい。財源さえ確保できれば、すぐにでも設置する気持ちはある。

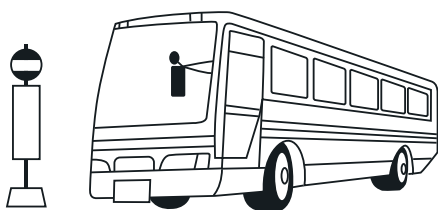


公共交通の早期見直しについて

問 広陵元気号の運行について大字によって不公平となっている。改善、見直し時期は。試行運転の結果、乗降の少ない駅は廃止していくとの答弁があったが、六道山には最初から停留所がない。現在、無料で運行しており公平性の原則からも早期に停留所を設置していただきたい。

理事者 笹井、竹村議員への答弁のとおり、多方面から多数の御意見を頂戴している。

改善時期については、容易に改善できるものから、適時実施し、協議等が必要な事項は、7月に予定している広陵町地域公共交通活性化協議会に諮り検討する。





堀川季延 議員

支援スタッフについて

問 現在、雇用している支援スタッフの雇用期間3年の期限の長期化の考えはどうか。また、施設管理サービス公社解散後における公社採用の3年期限付職員（幼稚園教諭、保育園保育士）の今後の採用方針について伺いたい。この3年の期限が短いため、募集しても応募が少なく、再募集しなければならない状況が見られる。予定どおり配置できるように、更に知恵をしばっていただきたい。

平岡町長 現在雇用している支援スタッフについては、できるだけ多くの方々に就労の機会を得ていただくということから、3年を期限としております。

この期間については、雇用の際に説明し、本人の了承もいただいております。3年後には職種を変えての応募も可能であり、多くの新しい人材を確保して参りたいと存じます。今後も、現在の方法を継続いたし

ます。
次に、サービス公社採用の期限付き職員ですが、今後は、正規採用職員の採用と臨時職員の雇用については、子どもの動向、施設の統廃合、幼保一体及び国の助成方針等を考慮しながら、考えて参ります。



自転車の利用環境の整備について



吉村真弓 議員

問 地域環境に優しい「エコ」への関心や、健康志向の高まりなどから、自転車を利用する人が増えている。しかし一方で、自転車が増えることで、交通事故の割合も増加傾向であり、専用道路などの対策が急がれる。自転車の利用環境整備を整えることが安心安全の町づくりの観点から重要な課題ではないのか。

平岡町長 環境重視型の道路づくりも時代のニーズにより必要な要件と考えている。まず、既存の道路をどのように区分けしていくかなどを検討する。

ドッグランの設置について

問 動物との触れ合いは、人間同士の触れ合い以上に人の心によしやしを与えるとの指摘がある。

愛犬家にとって毎日の運動は欠かせないが、求められる運動量を補う

のに適した専用の場所がなく、道路を散歩する程度にとどまっている。飼い主のマナーを高めるためにもドッグランは好ましい施設ではないのか。

平岡町長 ドッグランについては、犬にとっては日頃の散歩では発散されないストレス解消の場として必要との声も聞いている。

現在のところ県内市町村の自治体では設置しているところはなく、必要性について研究する。

窓口サービスの
日時拡充について

問 少子高齢化が進み、町民のライフスタイルや職業、勤務形態の多様化が進む中、土日か夜間でなければ、窓口サービスを受けることができない方が増えてきている。

行政窓口の休日開業による多面的なサービス向上は、時代のニーズとしてますます望まれる。休日窓口業務の今後の拡充についてお聞きします。

平岡町長 必ずしも休日等の開業によらずとも、一定の要望にはお応えできるのではないかと考える。窓口サービスの考えとしては、住民サービスの上という視点から「コンビニ交付」等の選択肢を増やしていく。



山村美咲子 議員

住民の命を守る 地域の防災について

問 地震等災害発生時において、地域の避難所となる学校施設は、児童生徒だけでなく、地域住民の命を守る地域の防災拠点です。町では、構造体の耐震化は実施していますが、それだけでは不十分。①学校施設における非構造部材の耐震点検は実施していますか。②学校施設の防災機能の強化についての考えは？（通信・電気・水・備蓄など）

平岡町長 ①天井材や設備機器、備品等の非構造部材の耐震対策が十分でない場合は、落下、転倒等により、避難所としての機能を損なう被害を与える可能性もあることから、耐震対策について、教育委員会とも検討していく。②今年度を実施する地域防災計画の見直しに合わせ、避難所のデータベース化、防災無線の整備、非常用電源の確保、備蓄品の整備など、避難所として必要な防災機能の強化などを盛り込むよう指示し

ている。

学校給食の向上のために

問 給食調理員の雇用について、数年後には正職員がすべて定年退職となる実情の中で、町はどのように考えているのか？

多くの保護者から要望されている中学校給食を含め、民間委託の考えはあるのかお聞きします。

安田教育長

中学校給食のあり方を検討することを契機に、広陵町の学校給食方式（センター方式、民間委託、自校方式等）をどのように実施していくのが良いか、検討している。給食調理員の雇用については、今後の実施方法に伴い必要となれば、採用する。

不妊症、不育症治療費の助成を！

の助成を！

問 一般不妊治療や不育治療を望む夫婦に対して、高額となる治療費の一部助成をすることにより、経済的負担を軽減して少子化対策としても支援していただきたいと思えますが町の考えをお聞かせください。

平岡町長

助成制度については、先駆的な取り組みをしている自治体の研究をしていきたい。



八尾春雄 議員

中学校給食に関する 業務委託

問 5月15日の「食生活食育を考える会議」で町長は「中学校給食は実施を前提に、どのような給食にするのか議論してほしい」と要請した。文科省基準でも、在学するすべての児童生徒に対して実施せよと定めている。

食材の安全性や生産者や調理員の顔を見えるようにするなら業務委託はなじまない。

平岡町長

先進地の状況を学びつついろいろな実施方式や委託を検討して最善の方法を選択したい。

ゴミ袋有料化は 地方自治法に抵触

問 指定ゴミ袋の使用を強制しながら「各戸から申し込みがあるのでゴミ袋有料化に問題なし」とするのはおかしい。

各戸からの申し込み実態はなく自治体の行なうべき仕事であって、住

民が負担している住民税で対応すべきものだ。

理事者 有料ゴミ袋を介在させることで個別の申し込みの存否を確認しているのが無料化に戻すことは考えていない。

専任の

学校図書館司書配置を！

問 平成24年度から、予算に盛り込むことを前提に、国は学校図書館書の予算を確保した。

平成19、20年度に本町にも専任司書が配置され、本好きの子どもが増した実績がある。次年度にはぜひ予算措置をとってもらいたい。

理事者

学校支援ボランティアや町立図書館からの応援を考えたい。地方交付税のやりくりがかえって大変になるので現在の所考えていない。

○その他の事項

- ・地区計画の進捗状況について
- ・固定資産税の現況課税について





山田美津代 議員

在来地の消火栓 40ミリの改善を

問 在来地の密集した地域は火事が起きた時が一番怖くて不安であるが、各大字周辺は40ミリの小さい口径の消火栓が多く火事がおきて1、2分の初期消火時にはこの口径の消火栓でも消火できるが、天井にまで火が回ったら65ミリの消火栓でないとならない。順次65ミリに変えていく必要がある。

平岡町長 40ミリの消火栓は基本的に各大字に管理をお願いしてる。40ミリから65ミリへの切り換えについては、消火栓を取りつける水道配水管が口径75ミリ以上や、同一水利でないなどを検討しながら切り替えていく。

食の自立支援は 安否確認を第一に

問 高齢者の独居家庭や、老々家庭に昼食を運び安否確認をするとても良い制度だが予算を消化しきれてい

ないのでもっと使い良い制度にバージョンアップして孤立死を防ぐ手立として確立していく必要がある。

平岡町長 高齢者が虚弱である場合、心身の障がい、疾病等の理由で食事の調達が困難な方を対象としている。真に必要な方に利用していただけるよう努めている。孤立死を防ぐ手だてとして高齢者見守りネットワークを活用します。

中学校給食は自校方式で！

問 12月議会で中学校給食実施の請願が採択された結果を受け止め、早急に実現に向けて動き出さなければならぬが、多くの町民が今か今かと待ち望んでいる声を教育長はどのようにお考えで、教育委員会としてどう進められますか？子ども達や安全安心を願う保護者の要望に沿った自校方式を進めて欲しい。

安田教育長 町部局の会議と教育委員会の「懇話会」での2つの会議で食の在り方について幅広くご意見をいただくこととしている。教育委員会はこの間先進地の視察を行い、中学校給食のあり方について資料収集や研究を重ねている。

原子力発電所再稼働に関して国の慎重な対応を求める意見書

意見書

政府は、今般、本町から120kmしか離れていない福井県にある関西電力大飯原子力発電所3号機及び4号機について、現状のままでは、今夏、電力不足に陥る可能性があるとの判断から、急遽定めた安全基準により安全性を確認し、地元自治体である福井県やおおい町に再稼働に向けての協力要請を行ってきた。ここまでに至る経緯を見ると、昨年7月に、当時の内閣総理大臣が、突然、原子力発電所の再稼働の条件としてストレステストを課すことを決めたことから、定期検査入りした原子力発電所が停止したままとなり、結果として、全国各地の原子力発電所が稼働できない状況となったものである。それが一変し、今回の大飯原子力発電所の再稼働に際しては、従来のストレステストのルールに追加する形で、わずか3日間で新たな安全基準が策定され、この基準に基づき安全性を確認したとされている。今回の新たな安全基準は、本来は独立した権限と機能を持つ原子力安全委員会の審議を経て決定すべきものである。そして何よりも、福島第一原子力発電所事故の検証が十分にできていない状況で、このような重要な基準が、審議の状況を国民に公開することなく策定されたことに対し、大きな疑問を抱くものである。事故調査委員も再稼働に関して「理解できない」と批判していることや30項

目の安全対策さえ満たしていないのに事故を防止できると断定することはできない。電力不足の心配をするなら、電力会社相互の融通協力体制、稼働していない自然エネルギーの活用、節電などについて真剣な対策をとるべきであるし、危険な原子力発電から脱するための期限を決めたプログラムの作成が急がれるところである。よって、国においては、大飯原子力発電所をはじめとする原子力発電所の再稼働の判断にあたっては、福島第一原子力発電所事故の十分な検証を踏まえ、独立した権限と機能を持つ原子力安全委員会の審議等、中立性が確保された手続を経た上で新たな基準を策定し、その基準に基づき慎重に行うとともに、原子力発電の安全性及び再稼働の必要性について丁寧な説明を行う等、立地自治体をはじめ周辺自治体も含めた自治体関係者や住民の理解を十分に得ることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成24年6月18日

(送付先) 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・経済産業大臣・内閣府特命担当大臣(原子力行政)・内閣官房長官

「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書

意見書

1960年代の高度経済成長期から道路や橋梁、上下水道など社会資本の整備が急速に進みました。高度経済成長期に建築されたものは現在、建築後50年を迎え、老朽化が進んでいます。国土交通省の「道路橋の予防保全に向けた有識者会議」は提言(平成20年5月)の中で、「2015年には6万橋が橋齢40年超」となり、建築後50年以上の橋梁が2016年には全体の20%、2026年には同47%と約半数にも上る現状を提示。経年劣化により「劣化損傷が多発する危険」を指摘しています。今後、首都直下型地震や三連動(東海・東南海・南海)地震の発生が懸念される中で、防災性の向上の観点からも、社会インフラの老朽化対策は急務の課題といえます。災害が起きる前に、老朽化した社会資本への公共投資を短期間で集中的に行うことによって、全国で防災機能の向上を図ることができます。と同時に、それは社会全体に需要を生み出すこともできます。つまり、防災・減災と経済活性化をリンクさせた諸施策の実施が可能なのです。一方、景気・雇用は長引くデフレと急激な円高によって極めて厳しい状況が続いており、そのために必要な政策が需要の創出です。そこで、公共施設の耐震化や社会インフラの再構築が、雇用の創出に必要な公共事業として潜在的需要が高くなっていると考えます。

よって、政府におかれては、国民と日本の国土を守り、安全・安心な社会基盤を再構築するため、防災・減災対策としての公共事業を緊急かつ集中的に行い、経済の活性化や雇用創出に資する防災対策の実施を強く求めます。

- 記
- 一、道路や橋梁、上下水道、河川道、港湾など、老朽化が進み更新時期が近づいている社会インフラを早急に点検・特定し、維持・更新のための公共投資を積極的かつ集中的に行うこと
 - 一、電気、ガス、水道、通信などのライフラインの共同溝化・無電柱化を促進し、都市の防災機能の向上を図ること
 - 一、地域の安全・安心のために、学校等の公共施設や病院・介護等の社会福祉施設など地域の防災拠点の耐震化及び防災機能の強化を推進すること
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。
平成24年6月18日

(送付先) 内閣総理大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・厚生労働大臣・文部科学大臣

委員会の窓

6月議会に上程された議案は、総務文教委員会及び厚生建設委員会に付託された7件について審査を行いました。その主な審査内容と結果をお知らせします。

総務文教委員会

議案 3 件

議案第 24 号 広陵町税条例の一部を改正することについて

問 退職分離課税の特例措置が廃止されるが、なぜこのように控除されてきたのか。

答 できるだけ税額を抑制するため。

問 税収の今後の見通しについては。

答 退職者数は増えていくと思われるが、支給額が減額されており、税収は減少傾向である。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第 25 号 広陵町公民館条例の一部を改正することについて

問 公民館運営審議会委員と社会教育委員が同じ人に委嘱されているが。

答 公民館部門と社会教育部門について、重複する部分が多岐にわたるため。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第 28 号 広陵町立真美ヶ丘第一小学校大規模改修工事(2期)に伴う工事請負契約の締結について

問 パソコン教室の改修工事を行うが、新たに備品を購入するのか。

答 現状のまま使用する。

問 トイレの環境改善について、今後の改修計画、考え方は。

答 スペースなどの問題で全面改修にいたっていないが、今後このような改修にあわせて向上を図っていく。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。



厚生建設委員会

議案 4 件

議案第 23 号 広陵町印鑑条例及び広陵町手数料徴収条例の一部を改正することについて

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第 26 号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて

問 住民の方と行政が連携をとり、業者に対して警告を行っては。

答 今までは刑事告発できる根拠がなかったが、この条例施行により刑事告発も可能になるので、住民の方、区長・自治会の役員さん、ゴミ減量推進員さんなどにご協力をいただき、持ち去り業者への声かけや、クリーンセンターへの通報をお願いしたい。また、パトロール強化を行う。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第 27 号 広陵町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正することについて

問 権利者 259 名にアンケート調査を行った結果、228 名から回答があり、そのうち 86% が賛成、全体に置き換えると 76% の賛成との説明があったが、残りの方の意見の整理、集約を行ったのか。

答 24% の意向は確認できないが、地域の要望に基づいて住民説明会を開催し、意見集約を行い、また、このアンケート調査結果などを踏まえ、総合的に判断し上程した。

問 この条例が施行されることにより、既存不適格物の対象となる建物は何棟あるのか。また、グループホームの建設は可能か。

答 現在、ハイツ 1 棟、長屋建て 2 棟がある。グループホームは建設できない。

結果 結審にいたる十分な審査ができていないことを理由に、継続審査すべきとの意見があり、採決の結果、継続審査すべきものと決しました。

議案第 29 号 奈良県後期高齢者医療広域連合規約の変更をすることについて

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議会日誌

5月

- 2日 全員協議会
- 17日 北葛城郡町議会議長会
- 22日 県町村議会議長会役員会
- 29日・30日 全国正副議長会研修会
- 31日 自治功労者会、町政説明会

6月

- 1日 議会運営委員会
- 8日 第2回定例会(初日) 全員協議会
- 11日 第2回定例会(2日目)
- 12日 第2回定例会(3日目)
- 13日 厚生建設委員会
- 14日 総務文教委員会
- 18日 第2回定例会(最終日)
- 25日 広報編集委員会
- 29日 県町村議会議長会役員会

7月

- 3日 人によさしい町づくりの集い
- 5日 広報編集委員会
- 10日 第1回中学校給食検討特別委員会
- 13日 広報編集委員会
- 香芝・広陵消防組合議会臨時会



QRコード



- 議会広報編集委員 (写真右から)
- 委員 山村 美咲子
 - 副委員長 吉村 真弓美
 - 委員長 吉田 信弘
 - 委員 八尾 春雄
 - 委員 笹井 由明
 - 委員 谷 禎一



緑の運動場
真美ヶ丘第一小学校



願いごと
かなうかな?

北葛城郡町議会議長会会長に 青木議長就任



去る平成 24 年 5 月 17 日に開かれた北葛城郡町議会議長会において、青木義勝議長が会長に就任されました。

香芝・広陵消防組合議長に 八尾議員就任



去る平成 24 年 7 月 13 日に開かれた香芝・広陵消防組合議会臨時会において、八尾春雄議員が議長に就任されました。

編集後記



新メンバーで初めての議会だよりをお届けいたします。

新人議員6名を含む14名の新体制となった選挙後初の今議会では、12名が一般質問に立ち、真剣な議論が展開されました。

漢字の「聞」「聴」は、大きく側の態度によって使い分けられます。自分から大きく場合は後者、自分に音が入ってくる場合は前者です。

だから「きこえる」は、「聴こえる」とは書きません。「聴く」は、中に「目」や「心」もあり、全身全霊を傾けてきくことに集中するという意味があります。

全議員が聴く力を発揮し、今議会に臨みました。

今後も身の回りの諸課題について、活発な議論が展開され、議会が一層身近で親しまれるように努力をしてまいります。

まだまだ暑い日が続いておりますが、どうぞ熱中症などにお気を付けてください。



再生紙を使用しています。



印刷にやさしい大豆インキを使用



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。